

## 第14回四日市市都市総合交通戦略協議会

## 第10回四日市市地域公共交通活性化協議会

1. 開催日時 令和4年8月5日(金) 14時00分～16時00分

2. 開催場所 四日市商工会議所 1階ホール

3. 出席者(いずれも敬称略)

○委員

名城大学工学部社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正
三重交通株式会社 四日市営業所長	服部 孝史
三岐鉄道株式会社 取締役常務執行役員	雨澤 隆生
NPO 法人生活バス四日市 理事長	西脇 良孝
近畿日本鉄道株式会社 名古屋統括部 運輸部	信田 直之 (代理出席)
東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 管理部企画課 課長代理	渡邊 良成
伊勢鉄道株式会社 取締役 総務部長	小林 孝司
四日市あすなろう鉄道株式会社 取締役 鉄道営業部長	小川 美和
NPO 法人下野活き・域ネット 理事長	谷口 欽衛
四日市市自治会連合会 副会長	諸戸 靖
四日市商工会議所 総務部長	坂下 聡宏
神前地区まちづくり推進委員会 定住対策部会 バスプロジェクトリーダー	佐野 しのぶ
三重県立四日市南高等学校 校長	梅原 浩一
四日市市老人クラブ連合会 副会長	齋藤 俊彦 (代理出席)
四日市南警察署 交通第一課長	田中 文美
四日市北警察署 交通課長	岩越 政智
四日市西警察署 交通課長	安田 圭吾
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所 副所長	藤原 弘典
国土交通省中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	前葉 光司
三重県地域連携部交通施策課 地域交通・次世代モビリティ班長	黒川 裕司 (代理出席)
三重県四日市建設事務所 副所長兼保全室長	内山 敦史
公益社団法人三重県バス協会 専務理事	青木 周二

一般社団法人三重県タクシー協会 専務理事	景山 和
三重交通労働組合 四日市支部 書記長	阪本 浩一
四日市市都市整備部 理事	伊藤 勝美

○オブザーバー

国土交通省中部地方整備局 建政部 都市整備課 課長補佐	梶原 裕二(代理出席)
国土交通省中部運輸局 交通施策部 交通企画課 課長	勝山 祐樹
三重県警察本部 交通部 交通企画課 交通安全対策室 室長	山上 武彦
三重県警察本部 交通部 交通規制課 規制担当補佐	野原 真太郎

4. 配布資料

- ・ 事項書
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 四日市市都市総合交通戦略協議会規約
- ・ 四日市市地域公共交通活性化協議会規約
- ・ 【資料1】 新・四日市市都市総合交通戦略及び四日市市地域公共交通計画の策定に向けて
- ・ 【資料2】 四日市市都市総合交通戦略について
- ・ 【資料3】 四日市市地域公共交通網形成計画及び四日市市地域公共交通計画について
- ・ 【参考資料一式】

5. 議事

- (1) 新委員の選任について
- (2) 規約の改定について
- (3) 四日市市都市総合交通戦略について
- (4) 四日市市地域公共交通網形成計画及び四日市市地域公共交通計画について

(3) 四日市市都市総合交通戦略について

(4) 四日市市地域公共交通網形成計画及び四日市市地域公共交通計画について

座長 それでは皆様方からご意見を頂きます。

それぞれの新しい計画を策定していくこの流れは、都市総合交通戦略では、資料2のページ目、交通計画では資料3の6ページになります。

基本的には、同じやり方となりますが、現行計画の評価を行い、上位関連計画との整合を図り、さらに社会情勢の変化を取り入れた形で、新しい計画の方向を決定しました。

大きな変更は必要なく、基本方針等の大きな枠組みは現行計画を踏襲する形で新たな計画を策定していく形となりました。

それぞれの現行計画の大きな枠組みは踏襲する中で、新たな視点を加えたのが、資料2及び資料3の最終のページになっており、新戦略及び交通計画

の大きな方向性ということになっています。

また、それぞれの取り組みの評価につきましても、丸、三角、バツの三段階で評価をしています。

評価に関するご意見もありましたら、お願いします。

A 委員 交通戦略の評価の中で、BRT の推進に関する部分は二重丸となっています。現在は、三岐鉄道様が運行を開始されており、二重丸になっていると思います。

参考資料の部分では、弊社についても、実験運用をしていると記載いただいておりますが、評価が二重丸ということは、この事業に関しては、完成し終了ということでしょうか。

弊社としましては、近鉄四日市から垂坂・キオクシアの方に連節バスの導入を検討しているのですが、まだ完成形では無く、運行上の問題があるため、BRT に関する事業については、継続して行っていただきたいという思いがありますが、いかがでしょうか。

座長 事務局いかがでしょうか。

事務局 計画期間である 12 年間の取り組みとして、二重丸という評価をさせていただいたというところで、これでもう終了ということではございませんので、引き続き必要であれば継続していきたいと考えております。

A 委員 引き続き弊社の方でもより利用しやすいように検討し、課題等がでてきたら色々ご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

座長 評価の二重丸については、成績としての二重丸であり、終了という意味ではないという風にご理解頂ければと思います。

施策の道路整備等については完成で終わってしまうこともあると思いますが、運用に関すること等は、二重丸でさらに今後継続という施策もあると思いますので、そのようにご理解いただければと思います。

その他、いかがでしょうか。

E オブザーバー 中部運輸局の方で実施しております第三者評価委員会の評価結果を次の計画にも反映していただけますよう、ご検討の方をお願い致します。

座長 事務局、いかがでしょうか。

事務局 第 3 者評価委員会の中では、こにゅうどうくんライナーに関するご意見をいただきました。そのため、具体的な施策の中で、反映させていただきたいと思

っています。

座長 具体的な施策の部分でしっかり反映していくということです。  
ではそのようにさせていただきたいと思います。  
そのほかいかがでしょうか。

C 委員 資料2の4ページ施策の方針の戦略2「円滑な交通を支えるまちづくり」の中で、継続事業として、国道477号、四日市湯山道路、477号西浦バイパス等があり、評価の中では二重丸と位置付けだした施策の内容について、ほぼすべて進捗しているというような記載方法ですが、実際には「ほぼ」ではなくて100%完了しております。  
そのため、継続ではなく終了している事業になりますが、これはこの計画策定時の記載なのか、それとも再評価後の記載なのかどちらになるのでしょうか。

事務局 資料2の3ページから6ページは施策の実施状況を表しており、計画策定当時の施策の状態を記載しています。

座長 資料2の4ページにかかっている継続事業というのは現行戦略の策定当時の継続事業として位置づけられたという意味になります。

現行戦略、公共交通網形成計画につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数に関連する目標がどうしても達成が難しくなりましたが、これはある程度やむを得ないところと思っています。

今後の新しい計画では、新型コロナウイルス感染症の流行前の数値、あるいはそれ以上の数値を目指していければと思います。

一方で、二酸化炭素については、地球温暖化の防止、あるいはカーボンニュートラル等への意識が高まっている中で、目標の達成が遠のいてしまっているという状況をしっかり認識しなければならないと思います。

新たな計画では、現在を踏襲するとは言いながらも、新しい内容・新しい方向があると考えております。

資料の事前送付はいつ行ったのでしょうか。

事務局 8月2日に送付させていただきました。

座長 資料の確認等、本日初めて見た方も多いかと思いますので、確認する期間を設けていただければと思いますが、いかがでしょうか。また、期間はいかがいたしましょうか。

事務局 8月12日まで、期間を設けさせていただければと思います。  
説明の中にもありましたが、施策に関しまして、皆様からご提案をいただ

きたく考えております。スケジュールがタイトになっておりますので、長い期間を設けさせていただくことができませんが、後日改めてご依頼させていただきます。

交通戦略に関しましては、次回協議会を9月下旬に予定しておりますので、そちらもお願い致します。

座長

施策の照会はまた改めてしていただくということで、基本方針等に関する意見は来週金曜日の12日までの期間とさせていただくということです。

また、先ほど参考資料として紹介ありました、四日市市では「ニワミチよっかいち」ということで、中央通りの再編を今まさに進めようということになっています。完成年度が2027年度を目指しており、戦略並びに公共交通計画の計画期間中ということになります。逆に言うと、このニワミチよっかいちを支えるべく計画にならないといけないという風に私個人的に思っております。そういう意味では、このニワミチよっかいちを念頭に置きながら、そしてこのニワミチよっかいちに向けて、施策の提案等のご協力いただければと思っております。これによって、ハード面の整備だけではなくて、ソフト面、そして交通の運用等々においても変わると思っています。このニワミチよっかいちによって、四日市の町がさらに活性化する機会にしたいと思えます。

また、市、国が投資をして進めていくビックプロジェクトですので、様々な形でご協力いただければと思っております。

交通というのは公共交通もしかり自動車交通もしかり、あるいは物流もしかり、すべての交通ってというのがこういったプロジェクトに大きく関わってきますので、ご協力程お願いします。

座長

その他いかがでしょうか。

B 委員

生活バス四日市は、8月中に Google マップで検索できるように取り組んでおります。

また、協賛いただいている企業等の広告をバスの車体にラッピングしたり、バスマップに表示したりと、PRに取り組んでいます。

座長

まさに今進めようとしている PX や見える化にご協力いただいているということだと思えます。そういったものを位置付けてさらに推進できるようにしてもらえればと思えます。

その他、いかがでしょうか。

D 委員

会場のスライドで、運転免許の自主返納者への割引制度ですが、三重交通様のみの紹介になっていましたが、三岐鉄道様も行っていると思えます。

座長 ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局 会場のスライドでは、三重交通様のみの記載とさせていただきましたが、資料では、三岐鉄道様も記載させていただいております。  
説明の中で、三岐鉄道様もご紹介させていただければ良かったかと思いますが、時間の都合上、三重交通様のみのご紹介とさせていただきました。

座長 三岐鉄道様もそのような取組を行っているということで、皆様にご認識いただければと思います。

その他いかがでしょうか。では、なにか意見がある場合には、来週までに事務局までお申し出いただけたらと思います。

以上で、予定の議会がすべて終了ということでございます。皆様方のご協力に感謝を申し上げます。

それでは、進行事務局にお返し致します。

事務局 座長、ありがとうございます。また、今日お集まりの皆様、熱心なご議論またご意見・ご指摘、ありがとうございます。

先ほどお話しいただきましたように、1週間をめぐり、ご意見等ありましたら、事務局の方にお伝えください。

次回の協議会につきましては、それぞれの計画の原案をお示しさせていただく予定です。つきましては、今回お示しさせていただきました目指す都市像を実現するため、施策の見直しを行います。近日中に改めて、事務局より施策の見直しに関するご依頼をメールでさせていただきますので、お願い致します。

次の協議会につきましては、都市総合交通戦略協議会が9月、地域公共交通活性化協議会が10月を予定しています。

最後になりますが、両協議会の会長よりご挨拶を申し上げます。

会長 私から、少し補足をさせていただきます。交通戦略では、目指す都市像や戦略の方向性に関しまして、ご意見をいただければと思います。また、今後10年間で取り組んでいく施策が、この文言と一致しているかの視点でも確認いただきますようお願い致します。

それと交通戦略は、平成21年に座長をはじめとした関係者の皆様と、準備会をスタートしました。当初の計画の10年間と延伸した2年間で14回の戦略協議会、また活性化協議会も10回の協議会を継続して開催させていただいたことに感謝申し上げますとともに、これからも引き続きお願い致します。

今年度は、複数回協議会を開催していくということになりますので、よろ

しくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。

事務局

以上で第14回四日市市都市総合交通戦略協議会及び第10回四日市市公共交通活性化協議会合同会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。